令和7年度 決算報告

◆お問合せ　財政課財政係
（☎40－0253）

令和7年度の南陽市の一般会計の概要をお知らせします。

歳入と歳出の差し引きである**歳入歳出差引額**は10億4207万円、そこから前年度からの繰越金等を控除し、基金の増減分を加えた**実質単年度収支**は、3006万円の赤字となりました。

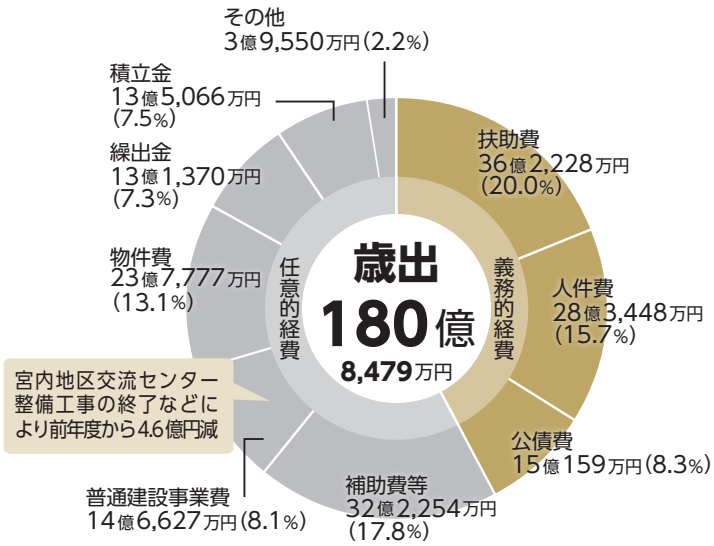
これからも限られた財源を上手に使い、市民生活に直結する事業を将来にわたって持続していけるよう取り組んでいきます。

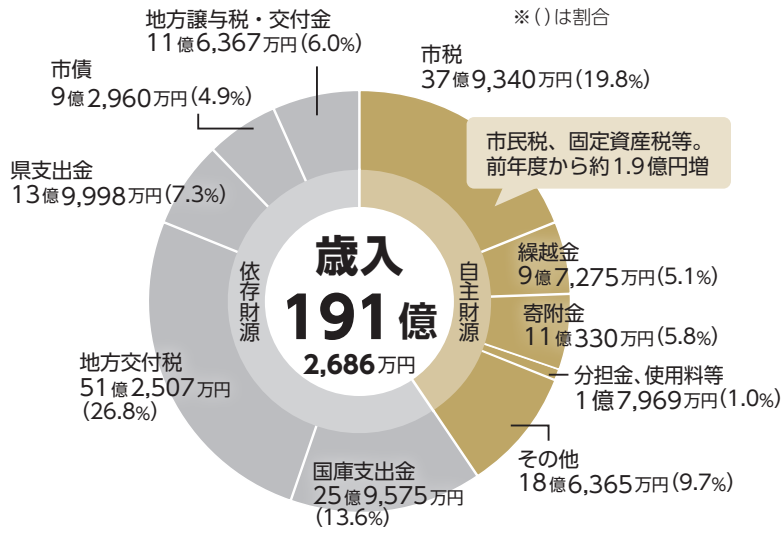
令和7年度の一般会計の概要

歳入総額	191億2,686万円
歳出総額	180億8,479万円
歳入歳出差引額	10億4,207万円
↓ 前年度からの繰越金等を控除し、基金の増減分を加える	
実質単年度収支	▲3,006万円

一般会計　歳入・歳出ともに、前年度から増加

※千円の位は四捨五入しています。





歳出　決算額は180億8,479万円で、前年度から1億3,669万円増加しました。このうち義務的経費では、人件費3.8%増、扶助費6.4%増、公債費1.3%増で、全体では4.5%の増となっています。任意的経費では、普通建設事業費が宮内地区交流センター整備工事の終了などにより23.8%減、維持補修費が除雪委託料の減などにより9.3%減少し、前年度に比べ全体で2億599万円(2.0%)減少しています。

歳入　決算額は191億2,686万円で、前年度から2億601万円増加しました。このうち自主財源は、前年度比で2億266万円増加。市税が前年度比で1億9,313万円増加したほか、財産収入、寄附金の増加が主な要因です。依存財源も前年度比で335万円増加。地方交付税が2億5,426万円、県支出金が1億3,006万円増加したことによるものです。

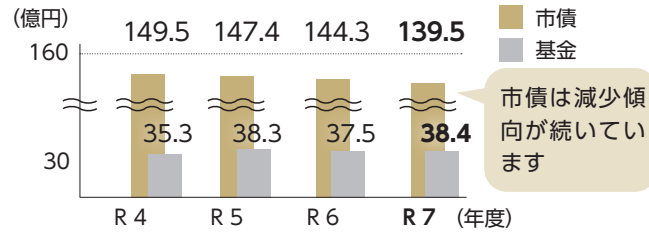
特別会計　全ての特別会計で黒字決算

（単位は万円）

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引
国民健康保険(事業勘定)	31億1,299	30億6,303	4,996
国民健康保険(施設勘定)	176	176	0
財産区	1億3,680	1億3,306	374
育英事業	1,208	24	1184
介護保険	35億9,049	35億676	8,373
後期高齢者医療	5億2,249	4億9,136	3,113

特別会計は5会計（うち国保は2勘定）となっており、すべての特別会計で黒字決算となっています。歳入総額は73億7,660万円で、前年度より1億2,810万円(1.7%)減少し、歳出総額は71億9,621万円で、前年度より8,775万円(1.2%)減少しています。

市債・基金　市債残高は減少継続



市債残高は、前年度に比べ4億7,259万円減少しました。基金は前年度に比べ9,222万円増加しました。

財政状況について

令和7年度の実質公債費比率は13.4%、将来負担比率は97.6%で、いずれも早期健全化基準を下回っています。また、すべての公営企業で資金不足はありませんでした。実質公債費比率は、数値を変動させるような大きな要因はありませんでした。将来負担比率は、地方債現在高の減により10.0ポイント改善しました。